

令和 6 年度学長裁量経費採択課題（詳細内容）

教職実践力向上重点研究費

公募分野	代表者		テーマ
1	福祉講座	岩山 絵理	スクールソーシャルワーク研修プログラムの開発
プロジェクト概要		令和 4 年度より申請者らは、スクールソーシャルワーク研修プログラムの開発に取り組んでいる。研修プログラムの内容について、令和 5 年度の学長裁量経費（岩山絵理主担）の調査から、講師をスクールソーシャルワーク研究者とする理論中心のグループワークを多く含む研修へのニーズが高いことを明らかにした。しかし、調査対象者に一部偏りもあり、さらに対象者を拡大して調査する必要がある。スクールソーシャルワーク研修のニーズは高く、研修プログラムを開発する本研究の継続は実践的・学術的に意義があると考ええる。以上の理由から研究の継続を申請する。 2008年度、スクールソーシャルワーカー活用事業が開始された。教育現場における期待が大きく、年々、その人数は増加している。期待の一方で、課題が存在する。教育現場において実践する新たな専門職であるため、育成システムやプログラムが少ない。令和4年度の学長裁量経費（厨子健一主担）の調査から、全国の大学で現任者向けスクールソーシャルワーク研修会を実施している大学は、3校にとどまっていた。職能団体による研修会も存在はするものの、数が少ない。スクールソーシャルワーカーへの概算要求が増加するなか、専門性を有した人材確保のための学びの場、研修会は不可欠といえる。 本学において、令和 4 年度より、スクールソーシャルワーク研修会を厨子健一・岩山絵理で立ち上げを行った。6 回シリーズで15名程度の参加者であった。令和 5 年度、新たに研修会の計画を立て、広報した結果、60名以上の申し込みを得た。さらに、令和 6 年度は、80名以上の申込みとなってい 今後、研修会を開催していくなかで、一般化できる研修プログラムを開発していくことが、いまの現状のなか、必要と考える。本研究は、スクールソーシャルワーク研修会プログラムを、現任者（スクールソーシャルワーカー、スーパーバイザー）との意見交換会もふくめ、開発することを目的とする。	

研究の目的	本研究の目的は、スクールソーシャルワーカー（SSWer）における研修会へのニーズを明らかにすることである。具体的には、SSWerは研修会の選択においていかなる要素を重視しているか、一方でどの要素は重要視していないかを可視化する。なお、本研究は、内容だけでなく、研修会の形態、方法、講師などにも着目する。さまざまな要素を取り込むことをとおして、SSWerが参加を希望する研修会の組み合わせをまでを視野に入れ提案でき、それは今後、主催者の現実的な企画につながると考えたからである。
研究の方法	コンジョイント分析を活用し、SSWerにおける研修会へのニーズを明確にする。コンジョイント分析は、商品やサービスのもつ複数の要素について、顧客が価値を置いている点や顧客に最も好まれるような要素の組み合わせを統計的に検討する手法である。 対象は、本大学で開催しているSSW研修会の参加者とした。また、研修会の参加者がはたらく自治体のSSWerにたいしても、参加者から依頼する縁故法を採用した。参加者が回答を終えたのち、封筒に密封したうえで、調査者に手渡し、または郵送するようお願いをした。調査は、2024年3月に実施し、51名の回答が得られた。配布数にたいする回収率は、72.9%であった。本研究では、SSWerのニーズを明確にするため、SSWer以外からの回答（教員、スクールカウンセラーなど）5名分を除いた46名の調査票を扱った。さらに、分析終了後、SSWer 3名同時に結果にかかわる聞き取りを1時間程度実施し、結果の解釈を行う際に用いた。3名のSSWerは経験年数が10年以上あり、これまで100名を超えるSSWerと、活動する自治体のみならずかわってきた。そのなかで、多くのSSWerのさまざまなニーズを聞き、アドバイスをしてきた実績を有する。
研究の成果	本研究は、コンジョイント分析を実施し、SSWerにおける研修会へのニーズを明らかにした。結果、SSWerが研修会の参加を決定する際、形態、方法、講師を重視していることがわかった。加えて、理想とされる研修会のパターンは、「講義多めでGW少なめ、対面、実践技術中心、SSWの研究者、無料、勤務扱い」であった。講義での理解を深める目的でGWが必要である一方、スキルアップのために来ているがゆえに、GWが多いことには消極的であることが推察された。方法では対面が好まれていた。ワーカー同士の情報交換やネットワークの拡がりを求めていることが予想された。講師においてSSWの研究者を選好していた。 今後は研究結果を踏まえ、ニーズに即した研修の企画を進めていきたい。